



語字故原田 親

No. 672

2012/6/15

# 日中友好新聞

発行所  
日本中国友好協会  
〒113-0065 東京都千代田区  
西神田5-4-1 第17号ビル3階

日中友好協会  
岡山支部  
〒703-8256  
岡山市東区3-8-30 511  
TEL: 086(2)72-3010  
郵便番号1100  
01250-01-3835

日中友好協会  
倉敷支部  
〒713-8911  
倉敷市連島中央4-8-4  
(宮地方)  
TEL/FAX: 086(4)46-2711

日中友好協会岡山支部ホームページ  
<http://rizhong.biz/>  
メールアドレス  
rizhong86@hotmail.co.jp

## 東岡工教職員人権教育研修会

### — 高杉さんの「語り部」活動 —

小林軍治

はじめに

5月30日、岡山県立東岡山工業高等学校で教職員人権教育研修会が、中国残留日本人孤児の歩みから人権を考える」と題して、開催されました。高杉さんが講師を務め、私が解説者として参加しました。

東岡工では初めての研修会でしたが、県総体前で忙しいときに約40人の教職員が、最後まで熱心に聞いてくれました。

#### 高杉さん「配偶者支援」の署名を訴える

高杉さんは、中国での生活（孤児）になった経緯。林業関係の仕事、肉親捜しの努力などについて、話しました。とくに、養母の優しさ（冬になると新しい綿入れの服や、帽子などを作ってくれたので、一度も凍傷にならなかった。）にふれた時は、原稿を見ずに前を向いて語りかけるように話しました。

日本に帰国してからは、日本語学習や仕事の苦労、なぜ裁判を起こしたかなどについて述べました。

原稿を見ずに話をする高杉さん

最後に、中国帰国者の尊厳を回復する岡山の会」が取り組んでいる「配偶者支援の国会請願署名」への協力を訴えました。



解説をする小林さん

#### 想像力を働かせて

聞いてほしい

私は、自分の体験をもとに「孤児」が生まれた原因及び高杉さんの戦争体験を聞く上で大切なこととして、次の3点を強調しました。

一、想像力を働かせて聞いてほしい。  
二、歴史上の出来事について、相手の側から見てもほしい。  
三、死者の数字を見るとときに、人々がどのように死んでいったのか、また、死んだ一人ひとりに生活があり家族があったことを考えてほしい。

研修会が終了後の控室で、担当の先生に署名用紙10枚を渡し、署名の協力をお願いしました。

#### お礼状の紹介

中国残留日本人孤児に初めて会う先生が、校長をはじめとして少なからずおられます。

お二人の貴重なお話を通じて過去の戦争の傷跡を生々しく確認することができました。

新支援法施行後もまだ、解

決すべき問題があることを知りました。

中国残留孤児たちのそれぞれの生活があり、家族があり、歴史があることを理解したいと思いました。

教職員一同、とても有意義な研修でした。ありがとうございました。

#### 中国帰国者の日本語学習講座を見学して

吉田絵美

6月5日火曜日、私は芳田公民館で開催された中国帰国者の日本語学習講座を見学させていただきました。

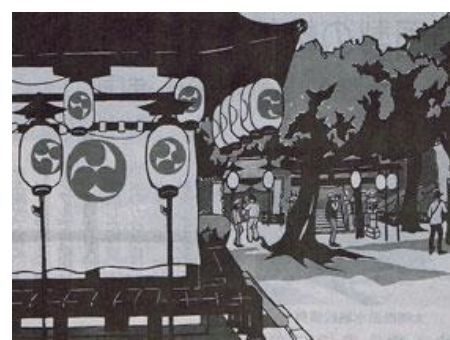
日本語支援を行うボランティアの方々、自作の絵カードやプリントを準備し、時折中国語を交えながら、熱心に授業をなさっていました。

学習者の方々も母語を話せる安心感からか、終始リラックスしており、楽しそうな表情をしていました。

私にとつてとても印象的だったのが、この講座では日本人も中国人も対等な立場で接していることです。教える日本人が「先生」、学ぶ中国人が「生徒」という上下関係がなく、一緒にわきあいあいと活動している

日本語学習講座の授業風景  
講師の宇垣さん

ように見受けられました。私自身も皆の前で自己紹介をさせていただいた上、授業にも参加させていただき、とても楽しい時間が過ごすことができました。中国帰国者の日本語学習講座には、誰もがここに「居場所」を見いだせるという素敵な魅力があると感じました。



最優秀作 岸本幾代さん「鎮守さま」

#### 第44回全国きりえコンクール

#### 岡山きりえの会

#### 優秀作や入選作続出

日中友好協会の全国大会にあわせて行われている、全国きりえコンクール、今年は第44回目を迎えました。

岡山きりえの会からも多数の出品があり、その作品の水準の高さが高く評価されています。

最優秀作品賞に、岸本幾代さんの「鎮守さま」、優秀作・新人賞に平谷順子さんの「66年目の広島」、優秀作に佐々木ふさ子さんの「藤の咲く道」、岸本幾代さん「路地」、佳作に竹内宣子さん「阿智神社」、入選に松岡多喜子さん「松永湾」、竹内宣子さん「街角のバラ屋さん」など多数選ばれています。

今後の皆様のご活躍に大いに期待しましょう。



## ニホン人は、なぜ、ニホン語を おしえることができるのか？ ⑬

竹内和夫



〈 討論 2 つづき 〉

C.: そんなに古いこと？ どんなカナヅカイ？

《明治の中ごろから敗戦(1945)まで、70年ものあいだ  
国定教科書で、天皇制政府が国民におしつけてきた仮  
名遣いだよ。おじいさん、おばあさんも忘れているかも  
ね。昔のハ行音はファ行音だったんだ。それがハからワに  
変わった歴史があるんだ。》

A.: そういえば「今日は晴天なり」なんか、「は」を書いて「ワ」  
と読む。ふしぎだなあと思っていたのが、とけた、万才！

B.: ファ→ハ→ワだけでなく、「家へ帰る」のへも発音はエだも  
んね。《清少納言の『枕草子』のはじめは？》

C.: 春はあけぼの。 《そうそう》

B.: ファルファアケボノと言ったの？ 《そう、助詞の「は」は  
ハ→ワだったかもしれないが》

A.: 『広辞苑』など国語辞典の付録には「現代かなづかい」  
(1946)がのっている。

古いのより、ずっと話しことばに近づいているけれど、「ただ  
し書き」がおおくて妥協の産物っていう感じがする。「こん  
にちは」などは、もう「こんにちわ」でいいんじゃない？

ニホン人のだれひとり「オトウサン」なんて発音してない  
んだから「おとおさん」のほうがいな。《漢字音のかなづか  
いは、もっともっと複雑だったんだ。学校はガクカウ、教室  
はキヤウシツ、蝶はテフ、十條はジフデウ、有名な婦人運  
動家の平塚雷鳥(1886－1971)はライテウ、太郎はタラ  
ウ、なんだから。やれやれ》

つづく

## 平和の波2012おかやまのスケジュール

「北辰斜めにさすところ」

6月17日(日) 第47回 反戦・平和・名作のつどい  
10時(111分) 無料

岡山市中央公民館視聴覚室(小橋町)

伝えたい志がある。残したい想いがある。あの熱き日々、決  
して忘れない・・・激動の昭和を生き抜いた青春の輝き。

(平和の波おかやま実行委員会)

『釈迦内枢唄』岡山公演

6月17日(日) 劇団希望舞台

開場 13時30分 開演 14時 (上演時間 1時間40分)

入場料 一般 3000円 小～大学生 1500円 全自由席

作:水上勉 演出:米倉斉加年 出演:有馬理恵ほか

[わけへだてなき優しさと勇気、時代に問いかける人間賛歌]

(劇団希望舞台『釈迦内枢唄』岡山公演実行委員会)

(086-233-1731)

第19回戦争・戦災遺跡めぐり

① 岡山大学構内(戦争遺跡)コース

6月17日(日) 9時30分集合

岡山大学創立50周年記念館前

衛兵所・橋梁演習場跡など10か所

② 市内中心地域(戦災遺跡)コース

—青年の取り組み—

6月24日(日) 10時集合

岡山城天守閣前

焼け跡が残る天守閣の石垣・禁酒会館・蓮昌寺  
など10か所

(岡山の戦争と戦災を記録する会)

第14回 平和七夕まつり

6月22日(金)～7月20日(金)予定 (終日)

表町商店街・岡山駅前商店街

戦争と戦災犠牲者の鎮魂と平和への願いをこめて、  
折鶴を広げましょう。

(平和の波おかやま実行委員会)

太極拳「劣等生のひとりごと」パート⑧

小坂信代

Ⅱ 日中友好協会主催のツアーに参加しましたⅡ

私は、1998年に仕事で

上海へ、2000年には、旧満

州で7歳まで過ごした父と長

て参加されていました。  
辛亥革命記念館での交流  
や意見交換では、さすが日  
中友好協会、このツアーに参  
加して良かった」と思いまし

春や大連にきました。次は  
ウーロン茶のコマーシャルのよ  
うな中国に行きたい」と思って  
いました。

璃江下りができる」と参

加した5日間の中国旅行で感  
じた事や、エピソードをつぶや  
きます。

えーかげんで、おおらかな国」

甲国はおおざっぱで、

上海も広州も大都会でし

た。道路は広く立体交差でど

こまでも続いています。周りは  
高層ビルや写真付の大きな宣  
伝パネルが「これでもか」と思

うくらいに続きます。

近代的なホテルやレストラ  
ンでも、トイレの水が出なかつ

たり、ドアの鍵や水道の蛇口

が壊れたりしていました。

飛行機が遅れるのはあたり

まえで、のんびりと待っている  
のです。出ないはずの機内食

もあり、夕食タイムが2回も

ある日もありました。

甲国を知りたい。

親しみたい。』

観光気分に参加した私と

次回(7月2日)午後1時半、  
民主会館2階で行います。  
前回お手伝いくださった方です。

ちがつて、団長の栗本泰治さ

が中国への想いを強く持たれ

ていて、しっかりと準備学習し



辛亥革命記念博物館

貝吹  
竹内和  
竹内袈  
三垣